

研究主題 確かな国語力の向上をめざす授業の構築

—論理的文章を読むことから活用することへと展開する授業から—

<めざす子供像>

論理的文章を読んで、文章の構成や論の進め方を理解し、それを自分の表現に活用することができる子供

手だて 説明文の単元構成の工夫

三次

「評価シート」を活用した言語活動の充実

筆者の述べ方を活用して、言語活動に取り組む

【二次】で学習したことを使って、自分の考えを書くことができたよ。

「評価シート」とは

評価シートとは、【二次】で読み取った身に付けるべき子供の力を具体的に示したもの

- ①身に付けるべき力を具体的に示したもの
- ②子供が、書き上げた文章を自己評価して、達成度を図る
- ③教師が子供の達成度、理解度を評価して、次の学習に生かす

二次

「めあてシート」の活用

筆者の述べ方に着目して、教材文を正確に読み取る力を付ける

筆者の述べ方を読み取ったよ。自分の文章にも使って、書いてみたいな。

「めあてシート」とは

めあてシートとは、【二次】の学習の視点を示したもの

- ①【一次】の学習で挙げられた子供の気付きや意見をまとめたもの
- ②論理的文章を読み取る学習の視点

一次

「モデル文」の提示

単元を通して身に付く力を捉え、学習の見通しをもつ

モデル文のような文章を書くために、教材文でどのようなことを学習すればよいかわかったよ。

「モデル文」とは

モデル文とは、単元の学習を終えた子供の姿

- ①教科書の「ことばの力」、子供の実態
- ②単元で身に付ける力を組み込む
- ③子供たちが主体的に取り組める魅力のある題材

矢東小の子供の姿

- 国語科の学習に、楽しく取り組むことができている。
- これまでの学習の積み重ねで、筆者の述べ方を読み取る力が付いてきた。
- △自分の考えに合った資料を見つけても、必要な情報を読み取る力が弱い。
- △複数の情報の関係を考えて、文章にまとめることが苦手である。
- △自分の考えに合った事例を、取捨選択して文章を書く力が弱い。